

達者です ⑤⑤

山は私の生きた証

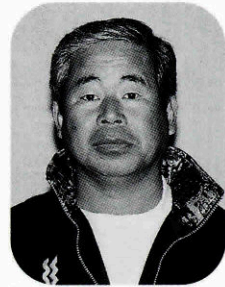
ふく なが いわお
福永 巖 さん

83歳 (黒川区)

「やすいように林道を造った。これが私の生きた証だと思っている」と誇らしげに話す。「山は境界が分かりにくいので子どものために山林地図を作った。市でやられている地籍調査も今なら協力できると思うが」と言う。「行政にお願いしたいが、鹿が多く折角植林しても木を傷つけてしまう。何らかの対策をお願いしたい」と話す。家の中では好対照なお二人。巖さんはテレビを見るのが好きで夜遅くまで見ている。好きな番組はプロ野球中継。モ、エさんは寝るのが趣味だと言う。「何時頃寝られますか」と聞くと「恥ずかしくて言えません。テレビを見るより寝た方がいい」と。また、買い物は、月1回病院の帰りに1か月分まとめて買っていると言う。

わくわく ひろば

市民の皆さんのページです
あなたの情報で、ひろばは
さらにイキイキ ☎ 231117



舛谷 政和さん
(栄町区)

エンジン
仲間達 ⑤②

ソフトボールで

いい汗流そう

〜レッツアゲイン〜

このチームを結成して4年目になります。最初は体力づくりという事で始めましたが、皆で何か目標を持って試合にも出てみたいという事になり、長門市ソフトボール協会に無理をお願いして入れてもらい、男子チームと一緒に試合をしています。

近郷地区には女子チームが無く協会の方にお願ひし、山口県ソフトボール協会に登録し3年目です。まず1勝を目標に練習してきましたが、11月2日の山口県体育大会で準優勝し、皆大変喜んでます。
年齢も20歳から50歳と幅広く、皆で力を合わせ一生懸命に頑張っています。本当に良き仲間と



今年2月、長野で開催される「第18回オリンピック冬季競技大会」に、大津高陸上部から8人が聖火ランナーの伴奏者選ばれた。当初女子2人だけだったのが、この度男子6人の追加選考があり8人となったもの。
長野競技会場に聖火が点火されるのは2月7日。聖火は12月下旬に、オリンピック発祥の地・ギリシャで採火され、空路日本へ。国内の聖火リレーの開始は1月上旬、「東日本ルート」「西日本・太平洋側ルート」「西日本・日本海側ルート」の3ル



敬称略：後列左から、末永祐一・三浦浩一郎・藤村和弘・木村裕昭 (以上2年)
前列左から、西本忠弘・中原由加・岡崎愛子・中敷正則 (以上1年)

長野冬季オリンピックの
聖火・サポーターランナーに

ちよつと小耳にはさんだ

1トにより、長野県を除く全国46都道府県を通過し、長野市を目指す計画。
国内全行程の聖火ランナーは、聖火保持者、伴奏者を合わせて6千6百人。走者は、1人の聖火保持者と5人の伴奏者の6人がチームを組んで1区間1キロを担当し、県内12区間を走ることになっている。

8人は1月12日、山口市内を走ることになっているが、陸上部キャプテンの木村君は「いい思い出となるよう楽しみながら走りたい」と抱負を語った。

